Live Performance SHIBUYA

森山開次 春の祭典 2024

IGOR STRAVINSKY
The Rite of Spring
Le Sacre du Printemps Four-Hand Piano Version

2024年3月2日（土）午後6時30分開演（午後6時開場）
渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール（4F）

全席指定 ¥5,000（高校生以下¥2,000）〔税込〕 2024年1月6日（土）午前10時発売開始
※当日券は残席がある場合のみ各席プラス¥500、開場時間より販売

出演 ✻ 森山開次（ダンス） 實川風（ピアノ） 三浦謙司（ピアノ）

チケットお申込み

電話・インターネット予約
○チケットぴあ Pコード：522-095 https://t.pia.jp（インターネット受付）
○ローチケ Lコード：31326 https://l-tike.com
○e+（イープラス） https://eplus.jp/

直接販売・お問合せ
渋谷区文化総合センター大和田 ホール事務室（3F）
TEL.03-3464-3252（受付時間 10:00～19:00）
※12/29～1/3は休館日。

渋 渋谷区民先行優待販売 全席指定 ¥3,500（高校生以下¥1,000）〔税込〕
12/2（土）午前10時から文化総合センター大和田ホール事務室（3F）にて。なくなり次第販売終了。区内在住、在勤、在学を証明できるものを持参。

主催 渋谷区

2018.3.2 Live Performance SHIBUYA「森山開次 春の祭典」より ピアノ：福間洸太朗 實川風 ©菊地英二

森山開次×實川風×三浦謙司

さくらホールを震撼させた、あの衝撃が再び!!

Program ✻ 第1部：2名のピアニストによるソロ演奏
第2部：イーゴリ・ストラヴィンスキー バレエ音楽「春の祭典」(4手ピアノ版)

本公演は、世界で賞賛される驚異のダンサー森山開次(演出・振付・出演)が、ストラヴィンスキーのバレエ音楽「春の祭典」に挑む創作舞台である。(2018年3月2日さくらホールにて初演)

「春の祭典」は、太陽神への礼賛と生贄として選ばれる乙女を描いたもので、1913年、ニジンスキーの振付により、ディアギレフ率いるバレエ・リュスによって、シャンゼリゼ劇場で初演、劇場中が騒然とするほどの賛否両論の激しい反響を呼び起こした現代音楽史上もっとも重要な作品のひとつであり、ストラヴィンスキーの最高傑作とも言われている。それと同時に、ベジャールをはじめとする名振付家の代表作品としても名高い。

今回上演するストラヴィンスキー自身の編曲による4手ピアノ版は、管弦楽版とは異なる緊張感とスリリングな展開が、この作品の魅力をより際立たせるものとなっている。この難曲に挑むピアニストは、初演から6年の月日を経て再び森山と共演する實川風、そして、2019年ロン=ティボー・クレスパン国際コンクール優勝者の三浦謙司が加わり、「春の祭典」が、新たなメンバーによる新たな解釈のもとで、2024年版として再演される。

春はあらゆるものに命の息吹を与え、生きる喜びを讃える。そして、春のほとばしる生命力によって原初のエネルギーを得た人々は、様々な民族、価値、感情、差違を乗り越え、本質的な力を取り戻す。この壮大な人間普遍のテーマを謳いあげる「春の祭典2024」にご期待ください。

2018.3.2 Live Performance SHIBUYA「森山開次 春の祭典」より　ピアノ：福間洸太朗　實川風 ©菊地英二

©Shingo Shimizu

森山開次(舞踊家／演出家／振付家) MORIYAMA Kaiji

21歳でダンスを始める。2005年ソロ作品『KATANA』で「驚異のダンサー」(ニューヨークタイムズ紙)と評され、2007年ヴェネツィア・ビエンナーレ招聘。2012年発表の『曼荼羅の宇宙』にて芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。2013年文化庁文化交流使。2019年『ドン・ジョヴァンニ』でオペラ初演出。2020年新国立劇場バレエ団『竜宮』演出振付美術衣裳。2021年TOKYO2020パラリンピック開会式演出・チーフ振付。同年よりカイヤ・サーリアホ作曲オペラ『Only the Sound Remains』出演、各国の芸術フェスティバルを歴訪。伝統芸能とのコラボレーションや実験的な創作の傍ら、2023年NHKBS「GIGAKU! 踊れシルクロード」前後編メイン出演、舞台『千と千尋の神隠し』カオナシ役など、ジャンルを自在に横断した活動で、現代のダンスシーンを牽引する アーティストの一人である。 http://kaijimoriyama.com

©T.Tairadate

實川 風(ピアノ) JITSUKAWA Kaoru

2015年、世界4大コンクールの一つと称されるロン・ティボー・クレスパン国際コンクールにて、第3位(1位なし)・最優秀リサイタル賞・最優秀現代曲賞を受賞。2016年、イタリアで行われたカラーリョ国際ピアノコンクールにて第1位・聴衆賞を受賞。現在、日本の若手を代表するピアニストの一人として、国内外での演奏活動を広げる。ソリストとしてベートーヴェンやバッハを核とした本格的なレパートリーに取り組む一方、邦人作品の新作初演などでも作曲家より信頼を寄せられており、弦楽器奏者や声楽家とのアンサンブルなどでも存在感を表している。これまでに上海音楽祭、ソウル国際音楽祭、ノアン・ショパンナイト(フランス)、アルソノーレ(オーストリア)などの国際音楽祭に出演。東京藝術大学附属高校を卒業後、東京藝術大学を首席で卒業し、同大学大学院(修士課程)修了。オーストリア国立グラーツ芸術大学ポストグラデュエート課程を修了。

©Harald Hoffmann

三浦謙司(ピアノ) MIURA Kenji

アルゲリッチが審査員長を務めたロン・ティボー・クレスパン国際コンクールにて優勝及び3つの特別賞を獲得、新な才能としてその名を世界に知られることになる。これまで第4回マンハッタン国際音楽コンクール金賞受賞、第1回Shigeru Kawai国際ピアノコンクール優勝など各賞を受賞。1993年神戸生まれ。4歳から自らピアノを始める。2011年、ロンドン王立音楽アカデミー、ベルリン芸術大学、カーティス音楽院すべて合格、ベルリン芸術大学にてクラウス・ヘルヴィヒ氏に師事、研鑽を積む。2012年夏、音楽の世界から一度離れる決意をし、ベルリン芸術大学を中退。日本で様々な仕事をしながらボランティア活動にも参加。2014年4月、同じくベルリン ハンス・アイスラー音楽大学に入学、エルダー・ネボルシン氏に師事。ワーナークラシックス・ジャパンより2022年11月4日、新アルバム《アイデンティティ》をリリース。

※都合により、出演者、演奏曲目などに変更のある場合がございます(不可抗力により表記日時の公演を中止する場合以外は、チケットの払い戻しは致しませんので、予めご了承ください)。
※場内での撮影・録音・飲食は固くお断り致します。
※収録のため、カメラが入る場合がございます。ご了承ください。
※未就学児のご入場・ご同伴はご遠慮ください。
※車椅子席はホール事務室にお問合せください。
最新の情報は、大和田公式ホームページにてご確認ください。

渋谷区文化総合センター大和田
SHIBUYA CULTURAL CENTER OWADA

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町23-21

アクセス1：渋谷駅より徒歩5分
国道246号を越えてセルリアンタワーと渋谷インフォスタワーの間に位置します
アクセス2：大和田シャトルバスまたはハチ公バス(夕やけこやけルート)にて乗車時間約2分
バス停「渋谷駅ハチ公口」から乗車、次のバス停「文化総合センター大和田」下車

●お問合せ
渋谷区文化総合センター大和田(3F)ホール事務室
TEL 03-3464-3252(受付時間 10:00～19:00)
FAX 03-3464-3289

www.shibu-cul.jp